

平成31年1月13日
執 行

長岡京市長選挙公報

長岡京市選挙管理委員会

「まず、暮らし。」堀川圭太 痛みのわかる市政を。ほりかわけいた



保育所に入れない154人。健康保険料の支払いが苦しい1372人。特養ホームに入れない195人。2年で81件の事業所数減少。市民のくらしの願いが切実なとき、18億円の「道の駅」でいいのでしょうか。

無所属 長岡京市をよくする会

プロフィール
1977年(昭和52年)生まれ。15才から働き、洛陽工高定時制を体をこわし中退。働くなかで政治と出会い、勤め先の倒産を機に日本共産党の職員に。現在、同党乙訓地区委員長。家族は妻、子3人、母。

私は18億円の「道の駅」より、実現したい声があります。

- 保育所の増設、過密な学童保育クラブ建て替え
- 幼稚園運営費助成の拡充、小中学校教育費負担の軽減
- 特別養護老人ホームや福祉施設を増やすため、運営費補助や職員処遇改善の制度創設
- 国民健康保険料・介護保険料を引き下げる
- 住宅リフォーム助成、災害で被害を受けた方へ補助

公共事業に
市民目線を

98億円の庁舎建て替えは、コンパクト、経費節減をはかります。数百億円、数十年かかる長岡天神駅周辺整備は、安全対策と送迎車対策などを先行し、あり方を市民が選択できるようにします。開田保育所あと地は民間に貸すのでなく、市民の声で活用します。済生会病院の現在の建物も含めたあり方に、市民の声を反映させます。

堀川圭太の
めざす長岡京市



困っている市民の声に真っ先にこたえる市政にして、8万人のかけがえない暮らしを次の世代にしっかり受け継ぎます。

子育てや高齢になることに
心配がいらぬまち

すべての子に寄りそう教育/高齢者の身近な相談の場/障がい者の暮らしと就労支援/向日が丘寄宿舍の存続求める/民営化路線を見直し など

どこに住んでも安心で、
困ったら助けてくれるまち

バス路線の充実・改善/地域ごとの防災計画/要配慮者の避難個別計画/低所得者の住宅確保/税・保険料の減免制度や生活保護の周知 など

市民と地元業者が主役になり、
魅力を高めていくまち

地産地消推進/中小企業振興条例・公契約条例/水道民営化はせず、料金引き下げ/市民活動・スポーツ・文化支援/自然と歴史の継承 など

挑戦は次の ステージへ なかこうじけんご 中小路 健吾



「計画」から「実行」へ 未来を創る
4つの長岡京市づくり

- 待機児童対策の推進と公立保育所での主食提供を実施
- 小中学校のICT環境を整備
- 高齢化を見すえた済生会病院の移転・機能強化を支援
- 障がい・高齢ニーズに応える共生型福祉施設構想の実現
- 防犯カメラによる子どもや認知症の方の見守りネットワーク
- 産業文化会館・保健センターの複合化や市民広場を核とした市庁舎の整備
- 長岡天神駅周辺まちづくりの推進

中小路市長と共に
次のステージへ

京都府知事
西脇 隆俊

長岡京の未来を創る会 会長
増田 寿幸



定住の促進

- I. 安心で豊かな暮らしづくり
- II. 次の世代へとつなぐ魅力づくり
- III. 新しいまちのかたちづくり
- IV. 市民の期待を超える市役所づくり



交流の拡大

まちの新陳代謝

中小路 健吾 プロフィール
1973(昭和48)年長岡京市生まれ。向陽幼稚園を卒園。長岡第五小、長岡第四中、西乙訓高校を卒業し、同志社大学法学部政治学科へ。同志社大学大学院総合政策科学研究科修士課程を修了後、衆議院議員秘書となる。2003年京都府議会議員に初当選し3期12年務める。この間、農商工労働常任委員長、建設交通常任委員長、決算特別委員長、関西広域連合議員などを歴任。2015年第5代長岡京市長に就任。趣味はフットサル、読書。家族は妻と長女、長男。

中小路健吾の政策を
ネットで発信中!



長岡京の未来を創る 検索

この選挙公報は、掲載申請期限(平成31年1月6日午後5時)までに候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。

投票日は **1月13日(日)** もれなく投票しましょう

(うらもごらんください)